

早期発見 が未来を守る

がん 検診

表紙の質問、答えは全て「×」です。
理由は誌面の解説で確認しましょう。

- ※1 国立がん研究センター
「がん情報サービス、最新がん統計のまとめ」より。
- ※2 7年「人口動態統計月報年計（概数）の概況」より。
- ※3 市の胃がん検診（69歳以下）の受診率。「7年度府内
市町村がん検診受診者数速報値」より。

生涯で

2人に1人 がんになる時代

年間約99万人が
新たにがんと診断されています※1

がんは
死亡原因 **第1位**※2

なのに上がらない、
検診受診率

胃がん検診では
府内43市町村で池田市は**42位**※3

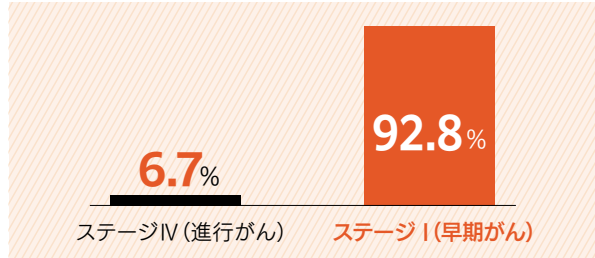
がんは、今や誰もがかかりうる身近な病気です。一方、医療の進歩などにより、早期に発見し適切な治療につなげることで治る可能性も高まっており、その大切な手段が「がん検診」です。しかし、本市のがん検診受診率は府内でも低い状況にあります。

10月は「がん検診受診率向上に向けた集中キャンペーン月間」、そして乳がん啓発の「ピンクリボン月間」です。

WEBアンケートから見た、がん検診に対するさまざまな声や、市の取り組みについて紹介します。

早期発見で、生存率が大きく変わります。

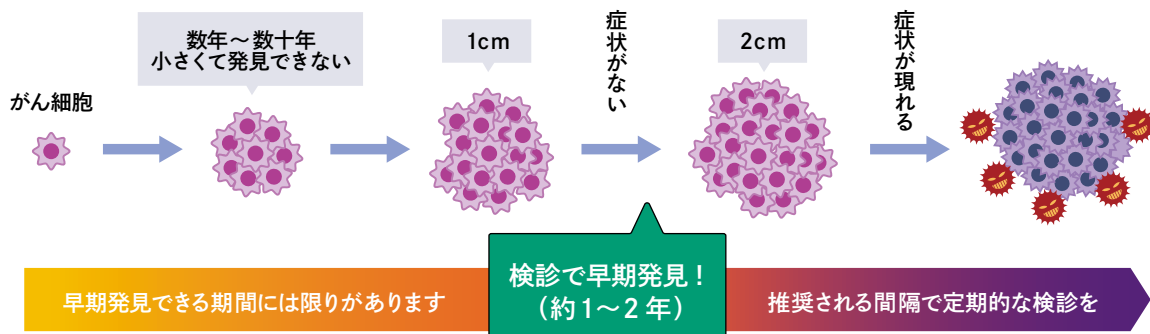
■ 2015年5年生存率の比較 （例：胃がんの場合）



※ 国立がん研究センター
「がん情報サービス、院内がん登録生存率集計」より。

がんの進行と検診のタイミング

がんの成長イメージ ※がんの種類や年齢などによって進行速度は異なります。



受けた方がいい。だけど・・・

ID 21521

WEB アンケートで聞いてみました

がん検診についての WEB アンケートを実施したところ、258 件の回答が集まりました。そのうち、市民からの 251 件の回答を中心に、受診した人、していない人それぞれのリアルな声から、がん検診について考えます。

実施期間：8月21日(金)～28日(金)

募集方法：市ホームページおよび市公式 SNS

回答：258 件（うち市民 251 件）

※ WEB アンケートの結果であり、市民全体の意見ではありません。

Q. がん検診を受診した？

50%

14%

14%

22%

■ 1年以内に受診（125件、50%）

■ 2年以内に受診（36件、14%）

■ 2年より前に受診（34件、14%）

■ 受診したことがない（56件、22%）

受けない理由

「2年より前に受診」「受診したことがない」の回答者に、受診しない理由を聞きました（複数回答）

- 受ける **時間がない**（30件）
- 費用がかかり **経済的負担** になる（29件）
- **検査内容** や **苦痛** の程度が分からず、**不安**（15件）
- がん検診そのものを **知らない**（12件）
- 健康状態に自信があり、必要性を感じない（10件）
- 必要な時はいつでも医療機関を受診できる（10件）

実は…

がんにかかると、治療のためにさらに多くの時間が必要になることがあります。

検診の種類により受診方法や時間はさまざまです。この機会に、自分の予定に合った受診方法を探してみませんか。

質問2 解説

市のがん検診なら、市が一部費用を負担するため、自己負担額を抑えることができるほか、免除制度もあります。

検診の種類により検査内容や体への負担はそれぞれ異なります。

不安な場合は、予約時や問診の際に実施医療機関へ確認・相談できます。

→ 詳細は次ページへ

受診した人の声

E.T さん・50 代

50歳の時、**検診で早期発見**し手術・治療。その後普通の生活を送っています。それ以来、市の検診は全て受けるようにしています。

市のがん検診は費用負担も軽くハードルは低く感じます。

さおりさん・30 代

初めてで緊張しましたが、クリニックの方や医師は優しく丁寧でした。

あーちゃんさん・60 代

30代の時、たまたま受診した子宮頸がん検査で早期のがんが見つかり手術をしました。その時はまだ若く「**どうして私が**」と思うこともありましたが、早期に見つかったよかったです。

にじいろさん・30 代

休日急病診療所の集団検診でしたが、事前予約のため思ったより**短時間**で終わり、よかったです。

Y.Y さん・70 代

仕事をしている時は人間ドックに行っていました。退職したので住民検診に変更しました。市の補助で安く受けられ、近所で受けられるので助かります。検診を受けた病院をかかりつけ医として、何かあれば頼りにしていきたい。

T.M さん・50 代

定期健診の1つとして毎年受診し、異常の有無を確認しています。

こびさん・60 代

がんが見つかったらどうしよう、という不安で予約するのに勇気がいりますが、やはり検診を受けて「異常なし」の結果をもらって**みんながホッ**とします。

あっき～なさん・50 代

早期発見のためには若くても受診するのがいいと思います。

がんを発見しに行くのではなく、**大丈夫のハンコをもらいに行くつもり**で。

市のがん検診

本市が実施しているがん検診は下記の通りです。
対象年齢などの要件を満たす市民は、保険の種別にかかわらず受診できます。

	検査内容	対象者	料金
胃がん	胃部 X 線検査（バリウム検査）	50 歳以上	1,500 円
	胃内視鏡検査（胃カメラ）	★50 歳以上／2 年に 1 回	2,000 円（50～69 歳は無料）
肺がん	胸部 X 線検査	40 歳以上	300 円
	低線量 CT 検査	50 歳以上／医師が必要と認めた方	3,500 円
大腸がん	便潜血検査	40 歳以上	500 円
子宮頸がん	頸部細胞診検査 （頸部細胞診、視診、内診）	★20 歳以上／2 年に 1 回 （頸体部は医師が必要と認めた方）	頸部 600 円 頸体部 1,000 円
乳がん	乳房 X 線検査（マンモグラフィ検査）	★40 歳以上／2 年に 1 回	無料
	乳房超音波検査（エコー検査、視触診）	30 ～ 39 歳	600 円
前立腺がん	PSA 検査（血液検査）	50 ～ 69 歳	800 円

★8 年度は西暦偶数年生まれの方が対象（9 年度は奇数年生まれの方）

症状がないがんを見つけるのが「がん検診」

そのために・・・

質問1 解説

1 症状がなくても

初期のがんは症状がほとんどないまま進行することが多いため、症状がなくてもがん検診を受けることが大切です。

健康な時こそ受診しよう

質問4 解説

2 一度ではなく定期的に

いつできるか分からないがんをタイムリーに発見するためには、定期的な受診が不可欠。
推奨される間隔で受診しましょう。

推奨される間隔で、継続的に

質問5 解説

3 要精密検査なら必ず

「要精密検査」は、がんと診断されたという意味ではありません。精密検査を受けることが早期発見・治療につながります。
「要精密検査」と判定されたら、必ず精密検査を受けましょう。

精密検査は早期発見のチャンス

正しい理解を 検診の利益と不利益

がん検診は大切な検査ですが、利益と不利益があります。

なお、国が推奨するがん検診※は、科学的根拠に基づき、利益が不利益を上回るよう定められています。正しく理解した上で受診しましょう。

利益（メリット）

- がんの早期発見・早期治療による死亡率の減少
- 検診で「異常なし」と判定されることで、安心を得られる

不利益（デメリット）

- がんを見逃す可能性がある（偽陰性）
- がんがないのに「要精密検査」と判定される可能性がある（偽陽性）
- 命に影響しないほどのがんまで発見する場合がある（過剰診断）
- 検査で出血・穿孔などが起こる可能性がある（偶発症）

※国の「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」に基づく胃がん・肺がん（胸部 X 線検査）・大腸がん・子宮頸がん・乳がん（マンモグラフィ）検診のこと。

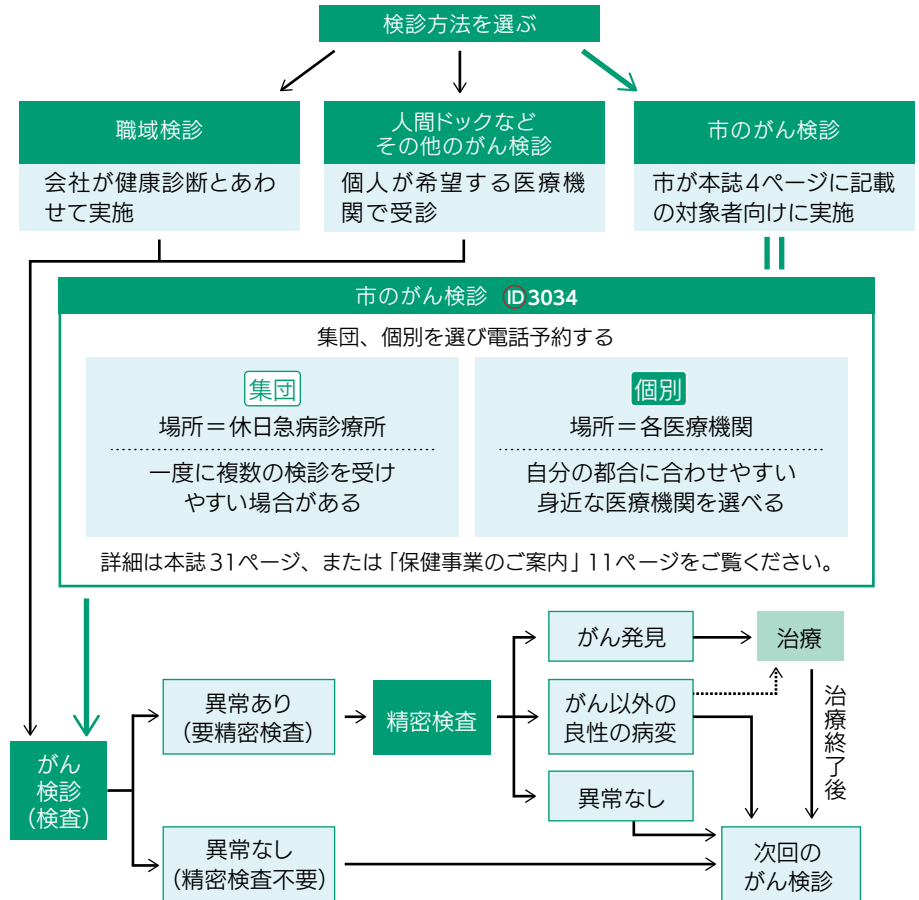
あなたはどこで受診する？

質問3 解説

本市が実施するがん検診には、決められた日時に休日急病診療所で受診する「集団検診」と市内の医療機関で受診する「個別検診」があります。

その他にも、勤務先で健康診断などと合わせて行う「職域検診」、個人で申し込んで受診する「人間ドック」などでも、受診することができます。

自分に合った方法で受診しましょう。



受診しやすい環境づくりのために市の取り組み

胃内視鏡検査（胃カメラ）の 自己負担免除 ID16317

胃がん検診受診率の向上のため、8年度から50～69歳の胃内視鏡検査を無償化しました。さらに、市内の実施医療機関数を増やし、胃がん検診を受診しやすい環境を整えています。

※市のがん検診では、鎮痛薬や鎮静剤は使用していません。また詳細な検査が必要な場合は、自己負担となる場合があります。

アピアランスケア事業 ID16420

がん治療の副作用による外見の変化を受けた方に、補正具購入費用の一部を助成しています。

一部負担金免除制度 ID3034

次の①～⑥のいずれかに該当する方は、事前申請で検診料金が無料になります。

- ①市民税非課税世帯（同一世帯の全員が非課税）
- ②生活保護世帯（同一世帯の全員が被保護者）
- ③身体障害者手帳（1～4級）
- ④療育手帳（A・B1）
- ⑤精神障害者保健福祉手帳（1・2級）
- ⑥被爆者健康手帳

必ず事前申請が必要です

【申請方法】本人確認書類と、手帳をお持ちの方は該当する手帳を持参し、市役所 4 階健康増進課

※前立腺がん検診、肺がん検診（低線量 CT 検査）、ピロリ菌検査は対象外です。



健康は皆さんの生活の基盤であり、資産です。
本市の制度を活用し、ぜひがん検診を受診しましょう。
2～3月は混みあうため、早めの予約がおすすめです。

知った今日を、受けるきっかけに。

【問い合わせ】健康増進課 ☎ 754・6032